

TTC 第9回DSL専門委員会スペクトル管理SWG

日付:2004年3月26日

提出元:NTT 東日本

題名:ISDNのカッド内収容状況について

1. はじめに

本寄書では、第8回スペクトル管理 SWG 寄書(SMS-08-ACCA-01)による ISDN のカッド内収容の説明に対して、弊社が確認した事項について報告するものである。

2. アッカ・ネットワークス殿の主張

ループ抵抗(810)制限により、0.4mmポリエチレン絶縁ケーブルでは原則(設計上)、2.7km以遠ではアナログ電話回線(ADSL重畳芯線)とISDNは同一カッドに収容しない。

3. 弊社が確認した事項

直流抵抗値 810 を超えていても2WのケーブルでISDNを提供することは可能であり、実際のフィールドでは開通工事の試験結果を踏まえ、ケーブルの使用方法(2W、4W)を選択しているため、810 を超える線路条件であっても2W のケーブルでISDNを提供しているケースは多々ある。

線路情報開示システムの回線データから、弊社収容局56ビル(第8回 DSL 作業班資料(2011-DSL8-8)と同一ビル)のISDNデータを抽出し、換算線路長 2.7km以遠で提供されるISDN(約 10.6 万回線)のうち、2Wケーブルで提供されているISDNだと確認が取れただけでも約 4.9 万回線存在し、2.7km以遠においても少なくとも半分が2Wで提供されている。(残りの約 5.7 万回線は、2Wで提供されていることが未確認であるが、同一カッド内の相手回線は、空き回線、アナログ電話、専用線等、4Wで提供のISDN回線のいずれかであることから、2Wで提供のISDN回線が多数含まれていると考えられる。)

表1に、2.7km以遠で提供されているISDNの回線数を 0.4mmポリエチレン絶縁換算線路長毎に示す。

表1:2.7km以遠で提供されるISDN回線(56ビルデータ) (単位:回線)

換算線路長(km)	2.7-3.0	~3.5	~4.0	~4.5	~5.0	合計
2Wと確認済の回線数 ^{*1}	23,079	21,833	4,063	369	54	49,398
2Wと未確認の回線数 ^{*2}	28,865	24,060	3,447	274	96	56,742
合計	51,944	45,893	7,510	643	150	106,140

*1:同一カッド内の相手回線が、別の ISDN または DSL であった ISDN 回線数

*2:同一カッド内の相手回線が、空き回線、アナログ電話、専用線等、または 4W 使用である回線数

以上